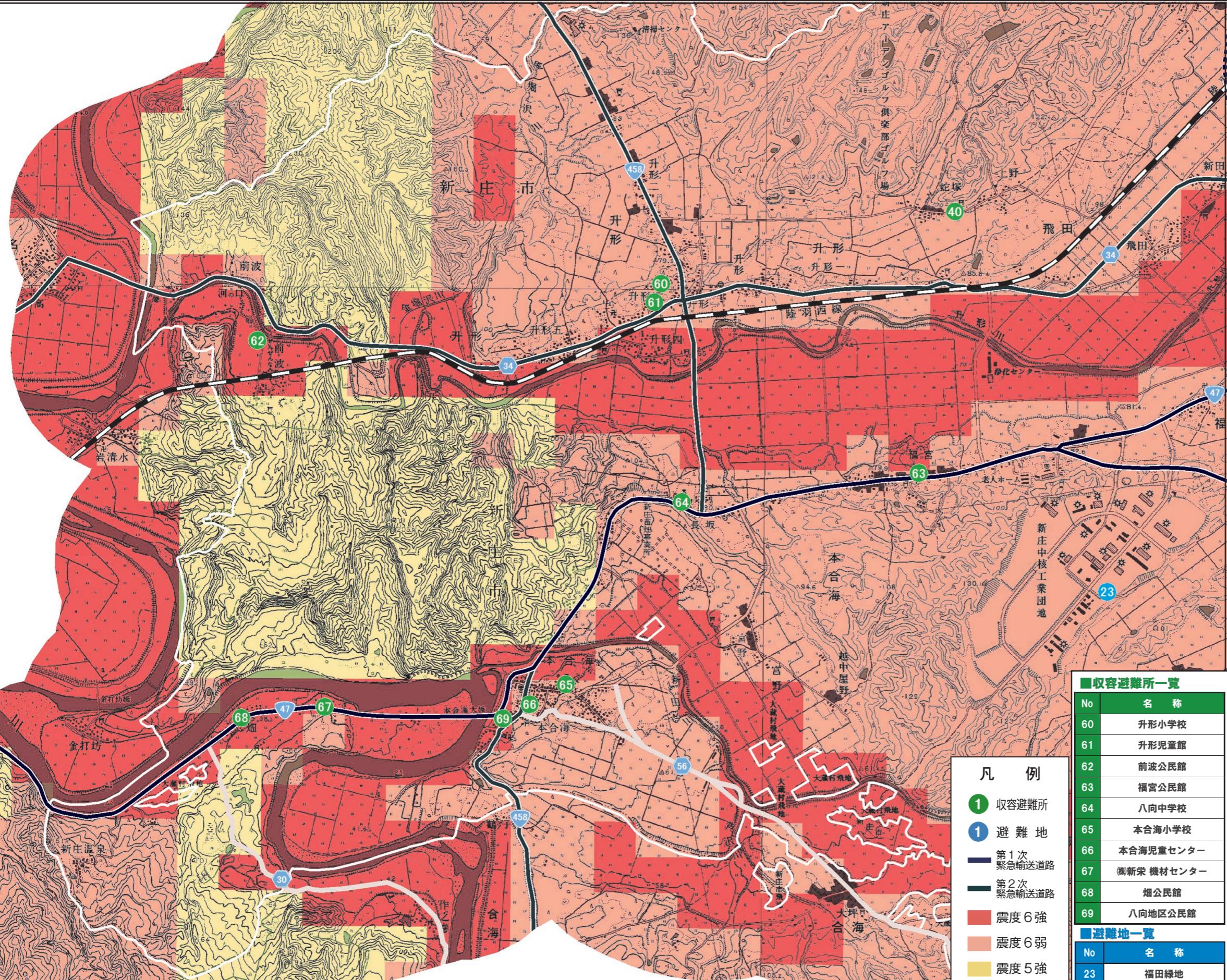


新庄市地震防災マップ～ゆれやすさマップ～（八向地区）保存版

あなたのお住まいは大丈夫ですか。昭和56年以前に建てられた住宅は耐震診断をしてみませんか。

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)を複製したものである。(承認番号 平21業復、第680号)



■ゆれやすさマップとは

山形県内の活断層型地震のうち、新庄市に最も大きな被害をもたらすと予想される「山形盆地断層帯地震」が発生したときに、自分が住んでいる地域がどれほど揺れるのかを震度として示したものが「ゆれやすさマップ」です。このマップを活用し、避難場所や地震が発生した際の対応、住まいの耐震対策について、家族で考えてみましょう。

■建物の耐震化が重要です

阪神淡路大震災や新潟県中越地震での死者の多くが建物の倒壊による圧死が原因でした。特に昭和56年の建築基準法改正以前に建てられた木造家屋の被害は甚大でした。



平成16年新潟県中越地震での被害

■住宅の耐震化に関する相談は

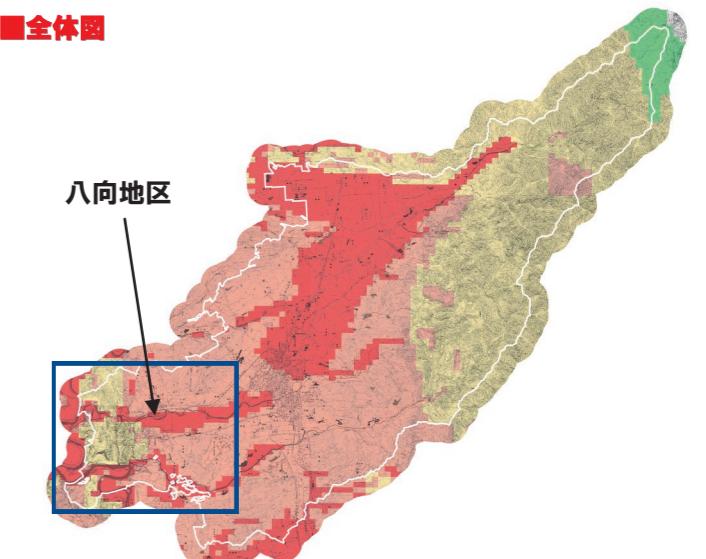
新庄市都市整備課建築住宅室
TEL 22-2111 内線522
山形県最上総合支庁建築課
TEL 22-1111

■耐震化の支援策

- ・耐震診断士派遣事業（市）
- ・高齢者すまいの地震あんしん事業（県）

詳しくは新庄市のホームページをご覧ください

■全体図



■地域の防災メモ

あなたの地域の最寄りの避難場所を書き出してみましょう。
